

みのしょう

箕島小学校たより

令和7年9月10日

第14号

【学校教育目標】

「学び合う学校」

よく考える子ども

思いやりのある子ども

きたえる子ども

令和7年度 全国学力・学習状況調査 結果について

一学期に実施された全国学力・学習状況調査の結果が公表されましたので、本校の結果についてお知らせいたします。

実施日：令和7年4月17日(木) 実施対象：6年生 実施教科：国語、算数、理科

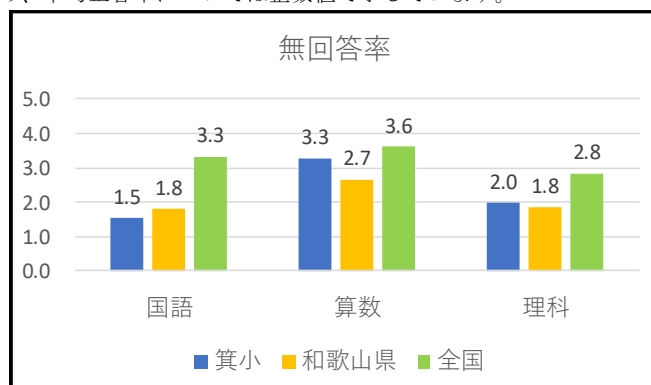
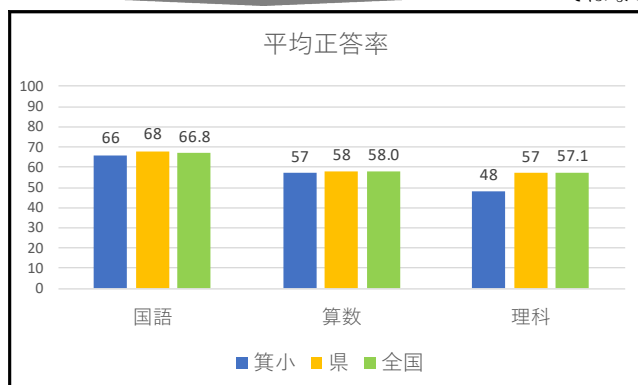
調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、

- 全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

教科調査の結果分析より

*学力面において、細かい桁における微小な差異は、実質的な違いを示すものではないため、平均正答率については整数値で示しています。



教科調査における平均正答率を見てみると、全国平均と比較して国語は－0.8ポイント、算数は－1.0ポイントとわずかに低い結果となりましたが、概ね全国平均並みと言えます。一方、理科の平均正答率は全国平均と比較して－9.1ポイントと大きな差となりました。平均正答率だけでは、今回の調査結果から理科について大きな課題が見られる結果となりました。

また、問題形式（選択式、短答式、記述式）を比較してみると、どの教科も共通して記述式の問題形式が高い結果となっていました。無回答率については、どの教科も全国平均より低い結果となっており、昨年度と同様に日頃の学習で「書くこと」を意識して取り組んだ成果であり、子供達が何事にも粘り強く取り組むことができている結果だと言えます。

国語

国語は、漢字の書く問題（「好み」「暑い」）がよくできていました。一方で文意を読み取り正しい答えを選択する問題に課題が見えました。

■課題①

インタビューを進めている文章を読み、その進め方の意図を読み取る問題に課題が見えました。これからは本文をしっかり読み、本文が求めていることをしっかり読み取ることが必要だと考えています。

■課題②

「とても」という言葉の意味が歴史的にどのように変遷してきたかを示した文を読み、その本文の内容を一言で示した言葉を選ぶ問題に課題がありました。課題①同様に文意を読み取ることがしっかりと取り組んでいきたいと思います。

算数

算数は、領域として比較的「図形領域」（台形・平行四辺形）がよくできていました。一方で分数や割合に関する問題について課題が見られました。

■課題①

分数の足し算で、通分の説明を問う問題に課題がありました。分数の演算を技術だけでなくしっかりと説明できる力が身につくようにしていきたいと思います。

■課題②

10 %増量は何倍かを問う問題に課題がありました。日常生活と問題を結びつけ、算数を考える力をつけていきたいと思います。

理科

理科は、記述式の問題形式がよくできていましたが、課題の見られる問題が多くありました。特に実験・観察に関する問題理解に課題がありました。

■課題①

電磁石を強くする電池のつなぎ方が直列つなぎで、そのようなつなぎ方をしている図を選択する問題に課題がありました。日常生活と連結し学びを進めていきたいと思います。

■課題②

顕微鏡の操作方法に課題がありました。顕微鏡の仕組みや使い方について実践を通じてしっかりと理解していくようにしていきたいと思います。

質問紙調査の結果分析より

児童質問紙調査は、児童の学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査です。本校の結果は、全国平均と比較するとほとんどの質問項目で肯定的な回答となっています。

■生活習慣・自己有用感・規範意識について■

生活習慣については、ほぼ全国平均並みです。自己有用感のうち右のグラフに示す項目では、本校児童は全国平均と比較して大きく高くなっています。ただ、この項目を含め、自己有用感や規範意識については引き続き 100 %になるよう取り組みを進めていきたいと思います。

■教科に関する関心・理解度について■

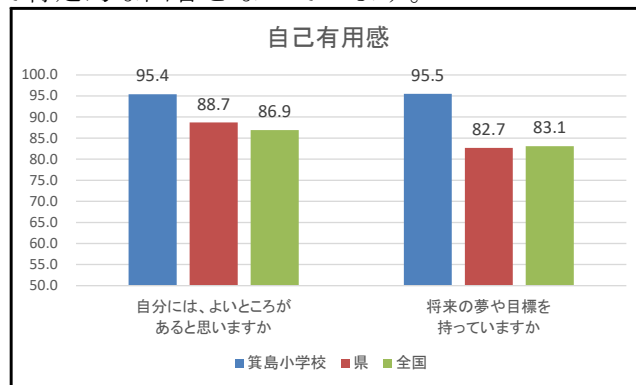
「○○（国・算・理）の勉強は好きですか」「○○（国・算・理）の授業の内容はよくわかりますか」の肯定的回答は、全国平均と比較して概ね 10 ポイント以上高くなっています。各教科の学習に対して満足できるものになっているといえます。

■授業方法の工夫改善について■

授業における PC の活用状況や、授業中に自分の考えを書いたり、課題解決に向けて考えたりするなど、授業方法に工夫があることを児童は受け止めた回答になっています。今後も授業改善を行い、子供たちに主体的・対話的で深い学びをすすめていきたいと考えています。

■地域とのつながりについて■

「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」の質問に対して 95.5 %の肯定的回答を得ています（全国差+ 13.7 ポイント）。地域と連携したイベントや取り組みを進めてきた成果だと考えます。今後も地域連携を進めていきたいと思います。



調査結果を受けて、本校が具体的に取り組んでいくこと

- * 今回の調査結果をしっかりと分析し、教科ごとの課題を明確にすることで、課題克服に向けた「分かる授業」の推進を図っていきたくと考えています。
- * 本校の研究主題の一つである「協働的な学び」をすすめることで、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に努めていきたいと思います。
- * 子供の自己有用感を高めるために、学校行事・学級活動を中心とした自主・自律を尊重した活動に取り組んでいきたいと思います。

今回の調査結果を受け、今後ご家庭のご協力をよろしくお願いします。